

水辺環境を高め、まちの魅力向上を

篠宮 正明
(自民クラブ)



【質問】デマンド型交通「くるぶ」の新型コロナウイルス感染症対策は。

【答弁】乗務員は、マスク着用、手洗いうがい、の励行、出・帰庫時の検温。車内の対策として、出・帰庫時のアルコール消毒、利用者降車後の換気とシートベルト・装備等への消毒スプレーの散布。また、利用者用アルコール消毒液の常備、運転席と後部座席間にアクリル板設置を準備している。

【質問】落合川について、①ヨシの繁茂の放置で、川床の上昇等、流れの変化による影響が考えられるが対策は、②遊歩道の安全対策や周囲の環境を考えると臨時的な駐輪場確保が必要では。

【答弁】①コロナ禍でヨシの伐根作業は行っていない。河川を管理する都へ当該箇所の調査も含め、抜本的対策等を継続して要望していく。②河川管理者である都へ改めて夏季期間の駐輪状況等や対策の必要性を情報共有したい。

持続可能なまちづくり推進に向けて

当麻 一哉
(自民クラブ)



【質問】東久留米市都市計画マスタープラン改定について、検討委員会の資料に最近の潮流として都市再生特別措置法の一部改正やSDGs等が挙げられている。今改定での同制度や目標の取り入れ方について見解を伺う。

【答弁】東久留米市第5次長期総合計画基本構想の基本目標達成のための諸施策の展開がSDGsの達成推進につながり、特措法の方針やSDGsの達成に向け、議論していく必要がある。

【質問】中学校部活動における新型コロナウイルス感染症対策について伺う。
【答弁】密集する活動や近距離での接触活動等について安全な実施が困難な場合、活動内容の変更等の工夫を求めている。対策例としてテニス部で男女別日の活動、バスケット部は接触回避のシート練習、吹奏楽部は教室を分けて間隔を1以上空けたパート練習、楽器の消毒といった対策を講じている。

教育現場における子どもの心身の状況把握を

沢田 孝康
(公明党)



【質問】ヤングケアラーについては、前議会でも介護現場における現状について伺ったが、今回は教育現場における実態調査の必要性について伺う。

【答弁】調査は必要とは思っているが、児童生徒の家庭状況の把握は個人のプライバシーに関わるため、一斉に行うことは難しい。しかし、その概念については、教育現場で周知する方法を検討したい。

【質問】コロナ禍において、大きく変化した子どもたちの生活の中、子どもへのストレスは大きいと思われる。その状況の把握や、ストレスを学ぶ教育が必要と思うがいかがか。

【答弁】子どもたちの心身の状況把握については、学校生活アンケート調査を全校で実施し、状況を把握する。ストレス指導については、学習指導要領に基づき、小学5年生で4時間程度、中学1年生で2時間程度学んでいる。

市は、コロナ禍を前向きに生きる対策を！

高橋 和義
(公明党)



【質問】コロナ禍で学校の宿泊行事が中止となったが、中学1年生のスキー移動教室を来年度へ延期できないか。

【答弁】来年度の中学1年生が同教室を行った上で2年生も行うと、日程や宿泊場所等さまざまな検討が必要。

【質問】来年度以降、中学2年生で行えば大きな影響はないのでは。
【答弁】各学年での行事の予定やバランス、保護者の負担を考慮して実施している。来年度以降、中学2年生で実施することによりどのような影響があるか、中学校長会と連携して検討したい。

【質問】今年度から開始した行方不明高齢者等事前登録制度に、いろいろな所に貼って行方不明者を見つけやすくする「見守りシール」を加える考えは。
【答弁】制度設計の過程で検討したが、「オレンシヘル」カードの携帯で田無警察署とも協議した上で決定した。まずは同制度の運用効果を検証したい。

一般質問



本会議の進行を務める富田竜馬議長

レジ袋有料化での資源物回収方法は

北村 龍太
(日本共産党)



【質問】レジ袋の有料化が始まったが、レジ袋を購入する市民の負担軽減およびプラスチック製品の減量化のため、資源ごみの回収方法を見直す考えは。

【答弁】戸建て住宅では、資源ごみを出す際、トイレットペーパー・キッチンペーパー・お米の袋等中身が見える袋を再利用していただいている。毎年度実施している点検と検証の中で回収方法を見直していきたい。

【質問】猛暑による熱中症患者のうち、エアコンを利用しない高齢者の死亡率が高まり、その対策として他の自治体で実施している高齢者向けのエアコン購入の助成を本市でも行えないか。

【答弁】新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る外出自粛要請に対する緊急対策支援事業として、他の自治体でエアコン購入助成事業を行っていることは認識しているが、現時点で本市として助成を行う考えはない。

小児がんと闘うご家族のために

三浦 猛
(公明党)



【質問】医療行為による予防接種の免疫消失に対する再接種費用助成事業については、30年度から質問を繰り返し行ってきた。市ではさまざまな検討を重ね、今回の補正予算に計上された。感謝申し上げるとともに、新たな制度の概要を伺う。

【答弁】対象者は、医師の判断が必要で再接種日において20歳未満の方。指定医療機関で再接種を行い、接種日から2年以内に市に申請することで、償還払いで助成する。助成金の上限額は5万円まで。施行日は11月1日で考えている。財源については、都の2分の1助成の活用を予定している。

【意見】市は財政難の中、新たな事業着手は大変な決断だったと思う。国でも予防接種法改正の協議中での検討課題となっており、都からも国の事業化を要望している。私も一地方議員だが、国の事業化に向け努力していきたい。

少人数学級推進とエアコン整備を！

梶井 琢太
(未来政策フォーラム)



【質問】少人数学級編成について、①感染症対策からも議論があるが見解は、②編成に伴う施設不足等への対応は。

【答弁】①国や都へ市長会・教育長会を通じ、35人とする学級編成基準、教職員員の配置、財政措置を要望した。②国や都の動向、学級数の増加を見据えた対応を検討していく。

【質問】学校の熱中症対策として、①特別教室と体育館へのエアコン設置は、②特別教室の空調機整備率と施設整備プログラムに沿った場合での将来の整備率は、③カリキュラム面での対応は。

【答弁】①特別教室は大規模改修時に経費を抑制し実施。体育館は、夏も部活動で使う中学校7校を対象に都へ整備計画書を提出し、小学校は本市の財政状況から実施が難しい。②今年度末で66・7%、令和7年度で96・5%の見込み。③特別教室の使用は夏場を避けるような年間指導計画を見直している。

交付金を活かして生活支援の拡大を

青木 佑介
(市民自治フォーラム)



【質問】ごみが増加する可能性の高いデリパリー・テイクアウト支援事業を予算化するのあれば、家庭ごみ収集袋無料配布等の支援も行うべきでは。

【市長】緊急で手を差し伸べていかねればならない部分を注意しながら財源を投入している。
【要望】今後また交付金等が下りてくる際には、ぜひ検討してもらいたい。

【質問】投票所・期日前投票所について、①弥生地区への増設は、②選挙の移動支援経費の国費措置を利用したデマンド型交通を移動支援に使えないか。
【答弁】①投票所の増設は、投票区域の変更を伴うことから慎重な対応が必要。期日前投票所の増設は、突発時の会場確保の可否など課題が多い。②東久留米市地域公共交通会議において協議が調った運行内容と異なる利用はできない。掛かった費用を還付することは可能と考える。

緑地を守り魅力あるまちづくりを

中野 淳子
(市民とともに歩む会)



【質問】本市の魅力は水と緑であり、この環境を守っていくことができれば人口減少が進む可能性もある。①本市の緑地の現状と、②緑地保全の取り組みについて伺う。

【答弁】①緑地面積は28年度が約28ヘクタールで、22年度と比べ14ヘクタール減少している。②緑地保全計画では、保全優先度の高い地区から保全を進めていくなど、公有地化を含めたさまざまな施策を総合的に実施することで貴重な緑地の保全を目指している。

【質問】職員の能力向上や情報収集の場として総務省自治大学校で研修が行われている。本市職員の参加状況、対象職員への周知について伺う。

【答弁】しばらくの期間、職員の参加はない。緊急事態宣言以降、4月に同校からeラーニングシステムの案内があり、在宅勤務時の研修として職員へ周知を行った。

今できる対策と事業準備を!!

引間 太一
(ニューウェーブ)



【質問】政府が開発した新型コロナウイルス接触確認アプリを市民に活用してもらうための周知は。

【答弁】8月27日から市ホームページに同アプリの紹介記事を掲載、広報ひがしくるめ9月15日号に同アプリの積極的な活用の記事を掲載する。

【質問】東京2020オリンピック・パラリンピック大会は延期となったが、本市における今年度の同大会機運醸成事業の実施状況と今後の取り組みは。
【答弁】現在までに同大会関連事業として、有名アスリート等からのビデオメッセージと記念ドリンクの配布を行った「小・中学生応援事業」の他、親子で参加できるポッチャ体験教室を実施した。今後の取り組みとして、さまざまなコミュニケーションを行いながら、同大会組織委員会、都、近隣市等と緊密に連携しながら対応を検討していきたい。